

318号
 発行/学校法人
 大阪電気通信大学
 住所/〒572-8530
 寝屋川市初町18-8
 電話/072-824-1131(代)
 URL:http://www.
 osakac.ac.jp/

大阪電気通信大学報

O.E.C.U.News

大学院(修士・博士後期課程)
 工学部
 医療福祉工学部
 情報通信工学部
 総合情報学部
 金融経済学部
 大阪電気通信大学高等学校

2013年度入学式

1810人

希望を胸に

2013年度の大学・大学院の入学式が4月5日、四條畷キャンパスのコナミホールで行われました。また、高等学校の入学式が8日、守口市の高校体育館で行われました。入学者の内訳は、大学院82人、大学1316人、高校412人の合わせて1810人。うち学術交流協定による留学生は、中国から29人を迎えました。



コナミホールで行われた入学式

皆さん、大阪電気通信大学へのご入学おめでとうございます。ご列席の保護者の皆さまにも、ご子息、ご息女のご入学を心よりお祝い申し上げます。

さて、皆さんがこれから進めたいか、大学の学修は高校までの学習とは大きく異なる点があります。まず、「学修」という言葉ですが、漢字では学び修めると書きます。これは高校までの「学習(学ぶ)」という言葉と違って、修めること、即ち、修得すること、ただ知識を習うこととは異なっています。身につけた知識、活用できる生きた知識を修得することを意味します。そのため、主体的な学びが必要になります。そこで、高校までの生徒という呼び方が学生に変わります。主体的に学ぶ個人(自己)という意味が込められています。



橋本英学長告辞

皆さん、大阪電気通信大学へのご入学おめでとうございます。ご列席の保護者の皆さまにも、ご子息、ご息女のご入学を心よりお祝い申し上げます。

さて、皆さんがこれから進めたいか、大学の学修は高校までの学習とは大きく異なる点があります。まず、「学修」という言葉ですが、漢字では学び修めると書きます。これは高校までの「学習(学ぶ)」という言葉と違って、修めること、即ち、修得すること、ただ知識を習うこととは異なっています。身につけた知識、活用できる生きた知識を修得することを意味します。そのため、主体的な学びが必要になります。そこで、高校までの生徒という呼び方が学生に変わります。主体的に学ぶ個人(自己)という意味が込められています。

3つの実学のチカラ身につけて

ところで、本学では、約50年前の創立以来、実学を重視した教育を進めています。第一は、手が動かせること、第二は、目で見えること、第三は、心で感じることを重視しています。

第一は、手が動かせること。これは、次の3つの実学のチカラを修得することで実現しています。第一は、手が動かせること、第二は、目で見えること、第三は、心で感じることを重視しています。

皆さん、これから日本の最先端の学問を勉強していくわけですが、大いに勉強を活性化していきたいですね。将来、我々の大学で学んだことによって、社会に貢献するようになりたいですね。

皆さんはこれから日本の最先端の学問を勉強していくわけですが、大いに勉強を活性化していきたいですね。将来、我々の大学で学んだことによって、社会に貢献するようになりたいですね。



福田國彌理事長祝辞

専門知識を蓄え社会貢献を

皆さんはこれから日本の最先端の学問を勉強していくわけですが、大いに勉強を活性化していきたいですね。将来、我々の大学で学んだことによって、社会に貢献するようになりたいですね。

皆さんはこれから日本の最先端の学問を勉強していくわけですが、大いに勉強を活性化していきたいですね。将来、我々の大学で学んだことによって、社会に貢献するようになりたいですね。

来賓 入学式に中国の北京科技大学から管庄校区院長の石岩氏と国際学院院長の楊勇氏が来賓として出席されました。



入学式後、コナミホールの前で留学生と記念撮影(前列左から2人目=楊氏、3人目=石氏)

しかし、去年の自分より今年の自分が優れていないのは、立派な恥だ。ここで、一番大事なことは他人との比較ではなく、自分自身が年々どれくらい成長を遂げているかということ。一歩、あせらず、くじけず、あきらめず、自分に打ち勝つ努力を積み重ねていけば、必ず、大学にいる4年間で大きく自分を成長させることができます。

最後に、実際の学生生活で役立つことを一つお話しします。皆さんはこれから緑色の学生手帳が配布されることになっています。その手帳には学生生活に必要な手続きや、学修支援などについて有用な情報が掲載されています。カレンダーの目付の部分には、予定の記入欄の脇に、6つに区切った枠が設けてあります。そこに、その日覚えたこと、気づいたことなどについて、何でも結構ですから、少ないけれども3つ以上、できれば5つ程度のキーワードを記入していただきたいと思います。文章を書いたり、アイデアを考えたりするときに、キーワードをキーワードに持っている状態で、そのいくつかを取り出してストーリーを組み立てたり、キーワードの組み合わせから新しいアイデアを連想するようになります。

そのような発想法や思考法については、そのうちにキャリア科目などで学びますが、できるだけ多くのキーワードを貯め込んでおけば、いろいろな場面に役に立ちます。

本学のすべての教員や職員は、皆さんの学業の支援や将来の夢をかなえる手助けをしますので、困ったときや迷ったときには、遠慮せずに相談してください。

皆さんがそれぞれに自立した個人として、悔いのない学生生活を送られることを願って、入学式の告辞といたします。

文部科学大臣表彰受賞

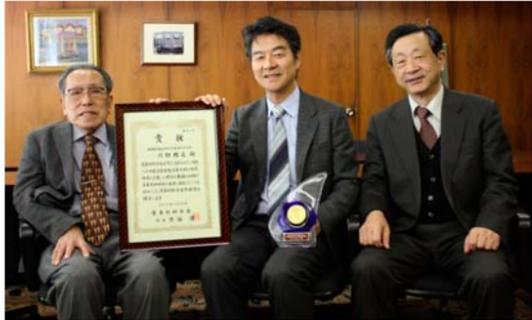
平成25年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞者が4月8日に発表され、工学部電気電子工学科の越川孝範教授(エレクトロニクス基礎研究所長)が科学技術賞(研究部門)を受賞しました。また、かつて石井徳章・機械工学科教授の研究室に在籍し工学博士号を取得した阿南景子・足利工業大学准教授が若手科学者賞を受賞し、同16日、文部科学省で表彰式が行われました。

越川教授 科学技術賞

文部科学省は、科学技術に関する研究開発、理解増進など顕著な成果を収めた研究者の功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする科学技術分野の文部科学大臣表彰を定めています。科学技術賞は顕著な功績をあげた者を対象に、また若手科学者賞は高度な研究開発能力を有する若手研究者を対象に授与されます。

川口雅之教授 炭素材料学会学術賞

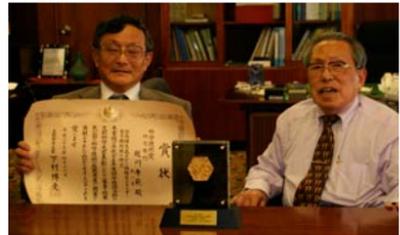
昨年11月に長野市生涯学習センターで開催された第39回炭素材料学会年會で、工学部環境科学科の川口雅之教授が学術賞を受賞しました。研究テーマは「B/C/N系およびC/N系へテロ原子置換型炭素材料の合成、物性と応用」。



福田理事長(左)、橋学長(右)に受賞を報告する川口教授

炭素材料学会は、炭素材料全般にわたってその基礎科学と応用について広く研究成果の普及と関連技術の発展を目的としています。学術賞の中の学術賞は、会員歴5年以上の正会員で、表彰を受ける翌年の4月1日現在で満60歳以下、炭素材料の科学・技術に関する重要な研究を行い、その業績が特に優秀で、機関誌「炭素」あるいは炭素に関する学術誌に掲載した者に授与されます。

福田理事長に受賞を報告する越川教授(左)



科学技術交流財団シンクロトロン光センターの竹田美和所長との同時受賞で、タートルは「超高輝度高スピ」により、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする科学技術分野の文部科学大臣表彰を定めています。科学技術賞は顕著な功績をあげた者を対象に、また若手科学者賞は高度な研究開発能力を有する若手研究者を対象に授与されます。

磁区の高分解能・長時間観察(0.02秒/画像)を実現した。②この顕微鏡を用い、MPAM用の実用材料である垂直磁化効果(Perpendicular Magnetic Recording)を多層膜(多層膜)に非磁性材料(原子層)による0.5nmの磁化反転効果を見いだした。

【特徴、従来の研究との相違】
①歪み超格子ナノドにより高スピ(約3.5倍)の磁化反転効果を実現し、レーザー光を背面から照射し超高輝度を達成した。

を実現した(1万倍以上)。極高真空の実現と電子光学系の新設計により200倍以上の長寿命を達成②この顕微鏡を用いて単原子層非磁性膜により面内から垂直磁化へ急激な変化を与えることを見いだした。

阿南氏 若手科学者賞

阿南足利工大准教授の若手科学者賞のテーマは「大型ダム本体の動的健全性を確保するための研究」。推し進めようとしている研究の概要は次の通り。

阿南足利工大准教授の若手科学者賞のテーマは「大型ダム本体の動的健全性を確保するための研究」。推し進めようとしている研究の概要は次の通り。

さらに現在実用されている大型ダム本体の動的健全性を確保するための研究。推し進めようとしている研究の概要は次の通り。

牛山泉理事長に受賞を報告する阿南足利工大准教授(左)



【社会的効果・実施効果】この研究がさらに普及すれば磁性薄膜材料の新たな発見が可能となり、スピントロニクスの発展を促すことができる。社会への影響は大きい。

石井教授は推薦書で「女性では珍しく水門の流体関連振動の理論解析に大学4年生から取り組んでもらいました。修士・博士課程に進学して、数学が得意な能力を遺憾なく発揮、非常に難しい振動による動水圧の理論解析、それに関連した振動の理論解析のすべてを非常にスマートな形で完成させておられます。理論解析とモデル実験及び実地調査

のすべてができる女性として貴重な世界の逸材であると言えま」と評価しています。

1120人 新たな出発

2012年度学位授与式

2012年度の学位授与式が3月23日、四條畷キャンパスのコンニホホールで行われ、1120人に学位記が授与されました。

【橋本英学長告辞】

皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんが社会へ出発するにあたって、まず必要なのは心構えです。夢や展望を思い描いて胸を膨らませている人、一方で、また自分が何をやるのか、何ができるのか具体的にイメージできない人も多くいます。ニューヨーク市長の名前として聞いたこともありません。アメリカ東部の名門校、ジョンズ・ホプキンス大学の理事長も務めています。彼の言葉に次の名言があります。

「考えるということは、あらゆる作業の中で一番の勇動だ。それを省いてしまつた人が多い。それをフックしよつとも、何も手に入らない」。

彼の言葉を借りて言いたいことは「考動力(考えて動くチカラ)」の必要性です。これからの社会は、ますますグローバル化が進み、構造や仕組みが複雑になっていきます。そんな予測困難な時代においては、



この時代は、多岐にわたる知識とスキルを必要とする。これからの社会は、ますますグローバル化が進み、構造や仕組みが複雑になっていきます。そんな予測困難な時代においては、

深き物事を分析し、どちらの方向にどのよう動けばよいかを、自分で考えられる人が求められています。これからの社会で求められる「実学の手カラ」は、より複雑なシステムや根本的に新しいコンセプトなどを考えることができるチカラです。それは本心に重なるチカラです。それは本心に重なるチカラです。それは本心に重なるチカラです。

【福田國彌理事長祝辞】 本日は我が学園で最も伝統のある工学部と一番新しい金融経済学部が一堂に会しています。日本では工学と文系を全く別のものごとく扱っていますが、私はすべての学問は科学であると思っています。そういう意味で、まことに我が大学にふさわしい、おめでたいことだと思っています。

【課程修了(2)の取得者】 (専攻、氏名、論文題目) △制御機械工学 辻琢磨「主問題：空調用圧縮機の高性能化に関する研究」、副題：第一部「レシプロ型圧縮機の性能最適設計」の確立、第二部「スクロール圧縮機」の性能最適化に関する研究」 △同 宮田賢宏「ポリスルホン膜ダイアライザのポリビニルピロリドン溶出と生体安全性に関する研究」 △同 井戸坂幸男「制御機器の仕組みを理解するための情報教育教材に関する研究」



前列左から(敬称略)岩下、辻、福田理事長、稲浦、宮田、間辺、井戸坂、橋学長

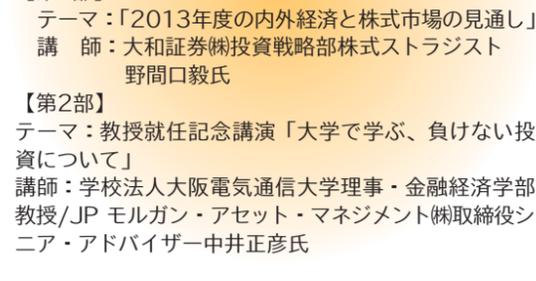
【福田國彌理事長祝辞】 本日は我が学園で最も伝統のある工学部と一番新しい金融経済学部が一堂に会しています。日本では工学と文系を全く別のものごとく扱っていますが、私はすべての学問は科学であると思っています。そういう意味で、まことに我が大学にふさわしい、おめでたいことだと思っています。

【課程修了(2)の取得者】 (専攻、氏名、論文題目) △制御機械工学 辻琢磨「主問題：空調用圧縮機の高性能化に関する研究」、副題：第一部「レシプロ型圧縮機の性能最適設計」の確立、第二部「スクロール圧縮機」の性能最適化に関する研究」 △同 宮田賢宏「ポリスルホン膜ダイアライザのポリビニルピロリドン溶出と生体安全性に関する研究」 △同 井戸坂幸男「制御機器の仕組みを理解するための情報教育教材に関する研究」

【論文提出による取得者】 △制御機械工学 神谷達夫「ビデオゲームプレイの視覚刺激に対する応答と疲労に関する研究」

【第1部】 テーマ：「2013年度の内外経済と株式市場の見通し」 講師：大和証券㈱投資戦略部株式ストラジスト 野間口毅氏

【第2部】 テーマ：教授就任記念講演「大学で学ぶ、負けない投資について」 講師：学校法人大阪電気通信大学理事・金融経済学部教授/JP モルガン・アセット・マネジメント㈱取締役シニア・アドバイザー中井正彦氏



講演する中井教授

福田理事長特別講演

2月26日、四條畷キャンパスのコンニホホールで、福田國彌理事長「写真」による特別講演「若い人たちに託したいこと」が、学生を対象に行われました。

伝説の英雄で弓の達人ウイリアム・テルが息子の頭の上のリングを射抜くときに、どれだけ勇気を出したのか。皆さんは一人で自由に発想し勇気をもって進んでほしい。自らの生い立ちと歴史が語った事象を顧み、どう



福田理事長の講演の様子

「若い人たちに託したいこと」

「若い人たちに託したいこと」 福田理事長の講演内容。伝説の英雄で弓の達人ウイリアム・テルが息子の頭の上のリングを射抜くときに、どれだけ勇気を出したのか。皆さんは一人で自由に発想し勇気をもって進んでほしい。自らの生い立ちと歴史が語った事象を顧み、どう

私の大好きな陶淵明の詩に「高きに登りて新しい詩をつくる」(登高賦新詩)という言葉があります。皆さんがそれぞれ個性のある人間になって、他人に代え難き地位について、それが独自の仕事をし、人間としてそれぞれが新しいボエムをつくる、高きへのぼるために努力していただきたい。 将来、文明の女神が美しい花束を授けけることを願ってお祝い申し上げます。(工学部・金融経済学部の学位授与式から)

2013年度 入学前ガイダンス実施



電子機械工学科の
ライントレース競技会

2月から3月にかけて、2013年度の入学予定者(1月11日までの入学手続き者)を対象に、入学前ガイダンスが実施されました。
ガイダンスは学科ごとに寝屋川・四條畷・駅前の3キャンパスで行われ、学科や研究の紹介、施設見学、模擬授業、懇親会など多彩な催しが入学予定者を迎えました。

| 学部 | 学科 | 実施日 | 体験イベントなど |
|---------|-------------------|-------|---------------------------|
| 工学部 | 電気電子工学科 | 2月15日 | 卒業研究発表聴講 |
| | | 3月8日 | 数学基礎演習 |
| | 電子機械工学科 | 3月19日 | 自動車のライントレース競技会 |
| | 機械工学科 | 2月16日 | 機械工学ともの作り、CAD体験 |
| | 基礎理工学科 | 3月9日 | 実験設備見学、個別面談 |
| 情報通信工学科 | 情報工学科 | 2月2日 | 資格取得入門実習 |
| | 通信工学科 | 3月18日 | 衛星通信研究施設など紹介 |
| 医療福祉工学科 | 理学療法学科 | 2月10日 | 実習体験、先輩たちがあなたの疑問に答えます |
| | 健康スポーツ科学科 | 3月6日 | 施設案内、懇親会 |
| 総合情報学部 | デジタルアート・アニメーション学科 | 2月9日 | なわてん(卒業制作展)ツアー |
| | デジタルゲーム学科 | 2月10日 | なわてん(卒業制作展)ツアー |
| 金融経済学部 | 情報学科 | 2月9日 | 模擬授業 |
| | アセット・マネジメント学科 | 3月7日 | Bloomberg端末で最先端マーケット情報を見る |

私立大学教育研究活性化設備整備事業2件採択

文部科学省が公募した平成24年度「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に、A区分で1件、B区分で1件の計2件が採択されました。

この事業は、私立大学の教育改革の新たな展開を図るため、基礎となる教育研究設備を整備することを目的としたもので、A区分は「主体的な学習への転換を図り、学生の学修効果を最大限発揮するための効果的な教育を行うための環境を整備する取組」、B区分は「グローバルな教育環境の下で学生が多様な交流や切磋琢磨する機会が得られる環境を整備する取組」。

A区分で採択されたのは、「右脳を活用して実学教育を充実化する学修法の開発」。このほか寝屋川キャンパスJ号館に10台のITテーブル(ITテーブル型)型学修プログラム用グループワーク型学修プログラム



ITテーブルによる学修プログラム

△に挑戦しています。ITテーブルは、頭の中のイメージをビジュアル化するのに適したツールで、自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション能力を高める効果が期待できます。ビジネスの現場でもよく用いられる「ブレインストーミング」や「KJ法」「マインドマップ」などの発想法に、この最新のIT機器と学内で開発したアプリケーションを組み合わせて、学生たちが意欲的にグループワークに取り組みめる環境を整備する取組です。

「協賛校との交流及び国際化教育の基となる国際交流サロンの整備。学生交流会「国際交流サロン」は、学生が作成した企画案をもとに、TV国際会議システムを用いて行いました。対象は韓国・湖西大学校、中国・北京科技大学、日本語を学んでいる留学生、2012年度の大阪電気通信大学研究生で帰国したオランダ・ユトレヒト芸術大学の学生。自己紹介や互いの国の文化についての意見交換を行い、双方の国をイメージするものをイラストで描き、それをもとに討論を行いました。

2012年度 退職者送別会

2012年度の退職者送別会が3月7日、大阪市中央区のホテルニューオータニ大阪で開催されました。

【出席】(写真右から)▽西川保雄(実験サポート課)▽井上秀明(寝屋川就職課)▽大西徳雄(庶務会計課)▽榊井力三(大学事務局)▽長谷部秀夫(大学事務局)▽中野由章(情報特任講師)▽竹居正登(数理工学センター)▽福山峻一(メディア)



2012年度 大阪電気通信大学 退職者送別会

【欠席】▽清水和夫(アセット・マネジメント学科)▽掛合純子(アセット・マネジメント学科)▽タマシ・カルメン(英語特任講師)▽定田照夫(大学事務局)▽古田重信(実験サポート課)▽山根益威(実験サポート課)▽駒水ひろみ(学生課)

留学生ミニパーティーで歓迎

学術交流協定に基づく中国、韓国からの留学生の受け入れは5年目を迎え、過去最高の入学者数を記録しました。

4月5日に入学したのは中国・江南大学から2人(総合情報学部)、北京科技大学から27人(金融経済学部14人、総合情報学部13人)。4月2日、KOUJIKI HALLで催された歓迎会には、福田國彌理事長、橋邦英学長らも出席し、満開の桜とともに留学生を歓迎しました。

また、3月23日には江南大学からの留学生18人と北京科技大学の1人が卒業。3月19日KOUJIKI HALLで送別会が行われ、福田理事長が「将来に向かって日本と中国がともに発展していくよう、皆さんも頑張って貢献してほしい」とあいさつ。橋学長は「日本でつくれた友だちは一生の財産。大事にしてほしい。卒業は出発。大きな希望を持って進んでほしい」と激励しました。



70人を超える学生が参加した交流会

アセット・マネジメント学科1期生 晴れの卒業パーティー

2009年に開設された金融経済学部アセット・マネジメント学科が1期生24人を送り出し、3月23日、駅前キャンパスで送別会が開かれました。

寺田貴金融経済学部長はあいさつで「皆さんを金融経済学部アセット・マネジメント学科の1期生として送り出すことができました。4年間汗を流しながら、ともに新しい学部の勉学に励んでまいり、幅広くたくさんの知識を得ていただいたことと思います。これからは今まで体得した知識、経験を伸ばし更に成長して、社会で役に立つ人となっていたいただきたい」と述べました。

この後、福田國彌理事長が「将来社会に出て有用な人材になってほしい」、また、橋邦英学長は「記念すべき1期生に誇りを持ってほしい。皆さんの活躍が今後の学科の将来にかかっているのだからぜひとも頑張ってください」と激励しました。



アセット・マネジメント学科の皆さん

2012年度学業優秀賞受賞者

-【電気電子工学科】.....
 - ①野本豊和、松本健一、三谷権太
 - ②稲田皓大、幸王貴則、武田雅之、渡邊健太
 - ③佐藤弘亮、原千慧、前田和慶
 - ④入江弥恵、下脇僚太
-【応用化学科】.....
 - ③河野雅俊、箸方麻里奈
 - ④畠山冴子、東野雄祐
-【電子機械工学科】.....
 - ①杉本敦、濱中崇文、森田康裕
 - ②岡本啓汰、星簇志帆、山田勇士
 - ③榎原純人、芝西陽一
 - ④齊藤勇真、西上航人
-【機械工学科】.....
 - ①岸拓弥、仁尾大也、宮本晋太郎
 - ②岡野哲也、野条久洋、吉川勲
 - ③木全篤、左手信明、玉川智之
 - ④井上敬文、栗原克典、藤川祐介
-【環境科学科】.....
 - ①岡山良樹、北井綱一、栗秋章吾、真鍋嘉宏
 - ②赤坂吉績、柴崎亨、柴田明展、前川依里佳
-【環境技術学科】.....
 - ③近藤裕司、平石和希
 - ④神月将陽、松尾千尋
-【基礎理工学科】.....
 - ①格清菜穂、仲井直樹
 - ②北田真弓、酒井勇太
 - ③生駒貴之、菅崎航平
 - ④村田真樹人
-【情報工学科】.....
 - ①大江健太郎、木村駿佑、小谷竜平
 - ②瀨田祐多、人見拓郎、山本浩也
 - ③井原英幸、尾崎光斎、坂口勇太
 - ④澤田史、武田栞、真鍋祥
 - ⑤中村文哉、宮島弘大、宮本康次
 - ⑥山下大貴、遠山大樹
 - ⑦浅田学史、井筒祐輔、小野田寛人
 - ⑧多田圭宏、永野弘晃
-【通信工学科】.....
 - ①石塚翔司、大森祐哉、中村颯志
 - ②窪田直樹、真栄平充史、吉坂泰良
 - ③岡崎龍馬、屋嘉部誠樹、山下雅人
 - ④木崎悠輔、櫻井天都也、松元隆明
-【アセット・マネジメント学科】.....
 - ①上村太輔
 - ②内田健太郎
 - ③畑啓満
 - ④鎌谷広明
-【医療福祉工学科】.....
 - ①金濱圭佑、柴田英宜、安武拓志
 - ②浦南翔一、大谷旨輝、横川慎
 - ③橋本敏之、野間裕樹
 - ④大久保駿介、奥田さつき、真柴大典
-【理学療法学科】.....
 - ①野崎千紘
 - ②今城慧太、松本光平
 - ③大橋裕司
 - ④岡尾拓也
-【健康スポーツ科学科】.....
 - ①江見拓也、坂本和生、松村直哉
 - ②上曾山紗世、立岡良太、辻本晃大
 - ③嘉地沙津紀、樋口栄美穂
 - ④中村政幸、森翔平
-【デジタルアート・アニメーション学科】.....
 - ①伊藤由香、野田佳奈
 - ②麻生真佐恵、若木翼、九鳥啓介、辻紗穂
 - ③北村涼、丸谷翔、邵哈、孟霄
 - ④清水仁美、顧麗文、轟師、馬潤芝
-【デジタルゲーム学科】.....
 - ①井川太熙、瀬川大地、高見亮、宮井星奈
 - ②伊藤佑一、梶原貴広、谷口萌、矢野和秀
 - ③岡本望、甲斐誠也、辻本悠佑、瀧口健太
 - ④岡西諒大、謝幸如、周境千、付寛、姚燕
-【メディアコンピュータシステム学科】.....
 - ①上平竜也、小倉伸也、竹内良亮、細田彩斗
 - ②永戸貴洋、藤本将登、古川聡
 - ③辰己拓也、中川毅、永田純一、山岸拓未
 - ④八木昌宏、吉岡康平

ブラインドセーリング・プロジェクトに協力

古野電機(本社:兵庫県西宮市、古野善男社長)が3月13日、全面協力を記者発表したブラインドセーリングによる世界初の太平洋横断プロジェクト「ブラインドセーリング」プロジェクトに、総合情報学部デジタルゲーム学科の魚井宏高教授と沼田哲史講師が開発に協力した機器が提供されています。

記者発表で公開された NavNet TZtouchとSail Sound



出港 16日、小名浜港福島県いわき市から米国カリフォルニア州サンディエゴのマリオット・マーキース&マリナーに入港する予定です。

魚井教授と沼田講師が開発に協力した機器は、マルチファンクションディスプレイ(NavNet TZtouch)の視覚障害者向けソフトウェア「Sail Sound」。無線LANでPCに船首方位や風向風速情報を送信し、自動で音声を読み上げるアプリケーションだ。

古野電機の発表によると、同社はオフフィシャルスポンサーとして、船舶用レーダーやプロッタなどの航海機器・無線通信装置、テレビ映像やインターネットを通じて情報発信するための衛

星通信装置・船上ネットワークなどを提供します。エオラス号は、同社がオ

2011年1月、マラソンとヨットで世界一周を達成して使用された28フィート型

のセーリングヨット(Bristle Channel Cutter)が、

企業と共同開発 アサヒ ラボ・ガーデンにゲーム設置



フォークリフトチャレンジ

アサヒビルルの工場で行われている商品ピッキングの作業をモニターの画面上で疑似体験できるゲーム。モニターの画面上で、倉庫に並べられたアサヒグループ商品の中から指示された商品を集めてトラックに運ぶスピードと正確さを競います。ゲームを楽しくながらアサヒグループの商品や物流についての理解を深めてもらうことができます。

アサヒビルルの工場で行われている商品ピッキングの作業をモニターの画面上で疑似体験できるゲーム。モニターの画面上で、倉庫に並べられたアサヒグループ商品の中から指示された商品を集めてトラックに運ぶスピードと正確さを競います。ゲームを楽しくながらアサヒグループの商品や物流についての理解を深めてもらうことができます。

総合情報学部デジタルゲーム学科がアサヒグループホールディングス(株)と共同開発した新しいゲーム・コンテンツ2種が、同社が大阪富国生命ビル大阪市北区に開設している、食と健康の情報発信ベース「アサヒラボ・ガーデン」に、1月28日(月)から設置され

子ども連れのユーザーの来場を促進するため、産学連携の取り組みの一環として導入されたもので、主に小学校中・高学年の子どもに、ゲームを楽しみながらアサヒグループの事業についての理解を深めてもらうのが目的です。

アサヒ ラボ・ガーデン

- ・大阪市北区小松原町2番4号大阪富国生命ビル4階「まちラボ」内
- ・電話 06-6926-4070
- ・ホームページ <http://www.asahigroup-holdings.com/research/labgarden/>
- ・営業時間 11:00~20:00 (毎週日曜定休、お盆・年末年始休業)
- ・入場無料

高見研

ゲーム出展協力 ~とりアート2012~

高見研が2月10・11日に鳥取県米子市の米子コンベンションセンターで開催された「とりアート2012」に協力し、床大画面ゲームなどを出展しました。

「とりアート2012」は第10回鳥取県総合芸術文化祭の西部地区事業プログラムで、テーマは「つたえる かんじる つながる」。

床大画面ゲームは大杉友哉さんに

よる「からだでうごかす新型ゲーム」。床にあるセンサーが人がどこにいるかをキャッチし、床の映像に人が入ると画面に変化が起こるゲームです。

このほか甲斐誠也さん、大野峻さんの「摩訶大将棋」、濱口健太さん、福井俊介さんが担当するLEDを使った新しいアミューズメント「Tape Rally」も公開されました。



人気のLED Tape Rally

ロボット時代の創造 高橋客員教授が特別講義

総合情報学部メディアコンピュータシステム学科の客員教授でロボットクリエイターの高橋賢隆先生による特別講義が1月7日、四條畷キャンパスで行われました。テーマは「ロボット時代の創造」。この講義は2008年から毎年行われており、今回は6回目。

【講義の概要】

日本のロボットづくりは主に研究用ですが、アメリカでは軍用や産業用が多く実用性があり、経済効果に貢献できています。また、開発もメカニカル分野が進んでおり、コンテ

スト形式で進められレベルアップを図っています。日本は人間そっくりのロボットを作ることやコンピュータのソフトウェア分野が進んでおり、コンテ

スト形式で進められレベルアップを図っています。日本は人間そっくりのロボットを作ることやコンピュータのソフトウェア分野が進んでおり、コンテ

スト形式で進められレベルアップを図っています。日本は人間そっくりのロボットを作ることやコンピュータのソフトウェア分野が進んでおり、コンテ

学生TV出演 サークル紹介

1月30日放送のNHK総合「V関西エリア」「あはやねん! すまやねん!」突撃「アサヒラボ」に、総合情報学部デジタルゲーム学科高見研の学生が出演しました。「あはやねん! すまやねん!」は中高生を対象にしている情報バラエティ番組で、将来の夢や進路に悩む人に、大学のサークルやおもしろさを紹介しています。

番組では、松竹芸能所属のお笑いコンビ「フリンセス金魚」の大前亮将・高道淳史が四條畷キャンパスの高見研を訪問し、床に映し出す映像の中に入って対戦する「ホッケーゲーム」(大杉友哉)、「壁ボール」を投げて遊ぶ、制限時間内にブロックを崩す「フリーバタフライ」(太田治



ホッケーゲームの録画



高橋先生とロボット

方が使いやすいのです。ロボットの未来像は人とのコミュニケーションをい

現在生活にロボットは不要です。しかし、15年ほど前はパソコンや携帯電話も同じ状況でした。今後はさまざまな製品やサービスの未来がロボットと密接に

OB 澁川さん受賞2件

2000年3月に電子工学科(高木晴雄研)を卒業し、篠田プラズマ(株)に勤務する澁川芳雄さんが、第3回ものづくり日本大賞特別賞と平成24年度近畿地方発明表彰発明奨励賞を受賞しました。

ものづくり日本大賞は製品・技術開発部門で、案件は「超大画面・超薄型・低消費電力・フィルム型ディスプレイの技術開発」。発明奨励賞は「超大画面フィルムディスプレイ」に関する特許。

なわてんグランプリ2012



受賞を記念して全員集合

2012年度の総合情報学部卒業制作展「なわてん」が3月9、10日の2日間、四條畷キャンパスで開催されました。10回目となる今年の「なわてん」には、デジタルアート・アニメーション学科第4期生とデジタルゲーム学科第7期生の卒業制作、メディアコンピュータシステム学科の特別研究の成果が披露され、9日には初めて総合情報学部ホームカミングデーも開催。約100人のOBが集いました。

また10日には、「なわてんグランプリ」の選考・発表が行われ、最優秀作品のグランプリに、デジタルアート・アニメーション学科・馬潤芝さんの「女の子から空への思い、海への思い」が選ばれました。シヨンの思い、海への思いが選ばれました。今までも支えられた皆さんに感謝します。これからもイラストレーターを目指して頑張ります。

受賞の喜びを語る馬さん



グランプリ・馬潤芝さんの話

2012年度総合情報学部卒業制作展「なわてんグランプリ」

| | |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 【グランプリ】 | |
| 「女の子から空への思い、海への思い」 | 馬潤芝(Q) |
| 【準グランプリ】 | |
| 「オフライン」 | 尾崎芽依、森田康介、垣内博斗、木下陽、三重野良明、山本一馬(Q) |
| 「心拍計を用いた床面エクサティンメント」 | 岡西諒大(W) |
| 【芸術賞】 | |
| 「THEOS (ツェオス)」 | 諏訪智哉、銭斯佳(W) |
| 【学術研究賞】 | |
| 「表示領域を考慮した携帯端末向け文字入力手法」 | 永田純一(T) |
| 【観客賞】 | |
| 「電通戦隊デンレンジャー」 | 安達優輝、大西真樹、高畑雄太郎、千頭大起、中田英理、西原賢治、西山諒、濱田佳祐、林耕平、藤野大貴、吉井遼一朗、吉崎由峰(W) |
| 【アゴラ賞】 | |
| 「四條畷市ドライビングマップ映像」 | 板底迪、村田裕章、田井中裕希、藤田健四郎(Q) |
| 【後援会賞】 | |
| 「アカイロノセカイ」 | 高橋一生、鍵田佑一、福田大記(Q) |

Q: デジタルアート・アニメーション学科
W: デジタルゲーム学科
T: メディアコンピュータシステム学科

小出卓哉さん ライフサポート学会奨励賞

医療福祉工学研究科医療福祉学専攻の小出卓哉さん(写真)がライフサポート学会奨励賞を受賞、3月22日、慶應義塾大学での第22回ライフサポート学会フロンティア講演会で授賞式が行われました。



小出さんは「名譽ある賞を受賞することができ大変光榮です。この賞に恥じぬよう自身を成長させていきたいと思っております」と受賞の喜びを語っています。

日本色彩学会関西支部 大会発表奨励賞

3月15・16日に北九州市門司区で開催された平成24年度日本色彩学会関西支部大会で、大学院工学研究科電子通信工学専攻(土居研究室)の四村大樹さんが発表奨励賞を受賞しました。

テーマは「分光画像における細かな色の違いを用いたステレオマッチング」。視差のある画像から物体の距離を推定する手法で、色の情報を詳しく撮影することで精度の向上をはかり、物体の色に合わせた設定を行うことにより計算時間の短縮を可能にしました。



藤田理恵子・日本色彩学会関西支部長から賞を受ける四村さん

4人が入賞 ヘッドマークフォトコンテスト表彰式



2月17日、京阪電車中之島線ななわ橋駅で、「ヘッドマークフォトコンテスト」の表彰式が行われ、入賞した4人に審査委員長 楓教授が授賞されました。

このコンテストは、寝屋川市が進める「びわこ号復活プロジェクト」のPR事業に応募し選ばれたデジタルゲーム学科・岡本悠志さん制作のヘッドマークをつけて運行する京阪電車のギャラリートレインを撮影するもの。

楓教授は「私も寒い中、萱島駅で2時間待ったが、体力勝負と感じた。最優秀賞は素晴らしい権図で、タイミングもよい」と感想を述べました。



入賞作を前に談笑する楓教授と岡山さん

「寝屋川市の学生が考える2012ビジネスプランコンテスト」(主催・寝屋川市工業会)の表彰式が1月29日、ホテル・アゴラ大阪守口で行われ、大阪電気通信大学からは大学院の2チームが審査員特別賞を受賞しました。

12年度の応募は全体で577件。1次審査を56件、2次審査を10件が通過し、プレゼンテーションを経て各賞が決まりました。

ビジネスプランコンテスト 2プラン受賞

具体的には後者に重点を置き、工業协会会员企業の製品の中で、ルクモーターに着目、ここからどういった製品を新たに開発できるか、検討を行った。そこから思い立ったのが、今後市場の拡大が期待できる「シェアカー」であった。高齢者にも使えるパーソナルモビリティを生み出す、市内の企業と取引することで利益を生み出すこと、市内企業の工業力の高さをアピールすること、サプライチェーンを構築し、域内の取引を活性化させる。

▽「エコカニ大作戦」
大学院チーム光毅

品として加工する際、殻などの廃棄物が発生、特に近年外食産業が発達するにつれ、こういった廃棄物の処理が問題となっている。

現在、カニやエビの殻から取れる物質から化学修飾した炭素材料を作成し、光触媒として使う研究を行っており、これを用いることで、環境への負荷の軽減やコストの削減が図れるのではないかと、思い立った。

事業内容としては、この炭素材料に空気中の有機物を吸着させ、そこに太陽光を当てることにより、有機物を分解して空気を清浄を図る。



受賞後、橘邦英学長を囲んで

大野峻さん ポスター優秀賞受賞

総合情報学部デジタルゲーム学科高見研究室の大野峻さん(写真)が、3月15日、慶應義塾大学日吉キャンパスで開催された「映像表現・芸術科学フォーラム2013」のポスター発表部門で、優秀賞を受賞しました。

発表論文のタイトルは「摩訶大将棋の復刻」。古文書を読み解くことで、鎌倉時代に創案されたと思われる摩訶大将棋の復刻を試みた研究が評価されました。受賞の概要は、芸術科学会の学



会誌DVA夏号に掲載される予定です。このフォーラムは、芸術科学会主催の「芸術科学フォーラム」と、映像情報メディア学会映像表現&コンピュータグラフィックス研究会・画像電子学会共催による「映像表現フォーラム」が、今年から同時開催されたものです。



謝さんと中尾市長

謝思佳さん 下関市役所に作品展示

大学院総合情報学研究科デジタルアート・アニメーション学専攻の謝思佳さんの修士学位作品「観光マーケティング・アプローチ」による、青島市PRプロモーションビデオ及び、展示ソールの企画・制作」が2月20日から3月13日まで、青島市の友好都市、山口・下関市の市役所ロビーで展示されました。

初日には、中尾友昭市長への表敬訪問も行い、立ち寄った市民に青島市の魅力や共通点などを説明しました。

謝さんは「きれいな海や西洋建築など、青島と下関の共通点を探してもらい、ぜひ青島に遊びに来てほしい。そして両市の友好関係が深まれば」と話しています。

電通大杯「第6回マイコンカーラリー大会」
 コンピューター大会が2月24日、寝屋川キャンパスの自由工房で開催されました。

電通大杯「第6回マイコンカーラリー大会」



完走に拍手、トラブルのため息

今回は、北海道から沖縄まで全国各地から過去最大の101台のマイコンカーが参加し、競技は高校生A(Advanced Class)、高校生の部B(Basic Class)、一般の部(Open Class)の4部門で争われました。

たけれど残念な結果に終わった人も、これでやめるとの終わりです。ぜひ続

- 【優勝者】**
- ▽高校生A「テスターNAO」 岐阜県立大垣工業高等学校・大橋由哉
 - ▽高校生B「ペンギン」 徳島県立貞光工業高等学校・谷口明弘
 - ▽一般「ウォータースキッパー」 井上康
 - ▽画像処理「件」 徳永弦久

土岐・阪大名誉教授 特別講演会

～電気回路設計では予測できない電磁ノイズとボーイング787電池破損～



講演する土岐氏

【講演の要旨】
 ボーイング787のリチウムイオン電池の事故(故障)に関する。JPARC(陽子加速器群)について、問題ないのが問題。電気回路設計では予測できない電磁ノイズに注目して、自然界にある回路は必ず環境からの影響を受ける。その環境の存在が電磁ノイズの正体である。

と実験施設群でチャレンジした大強度加速器の対称3線方式へ変更したことによる故障改善で得た経験から、高電圧かつ高電流を扱う電気回路では電磁ノイズが存在し問題となることが理解できた。

国家試験 理学療法士⇒全員合格 臨床工学技士⇒28人合格

2月に実施された理学療法士の国家試験に医療福祉工学部理学療法学科の学生と研究生31人が受験し全員が合格しました。全国平均合格率は88.7%。また、過去5年連続、卒業生100%の就職が内定しています。

理学療法士とは、運動療法、水治療法、日常生活動作訓練などの理学療法を駆使して、身体機能の回復を図るリハビリテーションを行うことのできる資格を有する者です。理学療法士になるには、理学療法士の養成校を卒業し、理学療法士国家試験に合格する必要があります。

| 過去の受験実績(理学療法士) | | | |
|----------------|------|------|---------------|
| | 受験者数 | 合格者数 | 合格率(全国) |
| 2009年度(1期生) | 33 | 33 | 100.0%(92.7%) |
| 2010年度(2期生) | 45 | 33 | 73.3%(74.3%) |
| 2011年度(3期生) | 34 | 32 | 94.1%(82.4%) |
| 2012年度(4期生) | 31 | 31 | 100.0%(88.7%) |

3月に実施された平成24年度の臨床工学技士の国家試験に28人が合格しました。合格率は全国平均(75.3%)を超える75.7%でした。

臨床工学技士は、心臓手術に必要な人工心肺装置などの生体機能代行装置や人工呼吸器などの生命維持管理装置、血液浄化装置など先端医療機器の臨床応用、安全管理・指導を行うための国家資格です。



スタッフの皆さん

電ch! プロジェクト

アーマード・コアサウンドコンサート開催

ゲーム会社と大学の垣根を越えたスペシャルライブ「アーマード・コアサウンドコンサート2013」(主催・大阪電気通信大学)が電ch!(でんちゃん)プロジェクトとして1月13日、京阪寝屋川市駅前のアルカスホールで開催されました。

「アーマード・コア(ARMORED CORE)」は、(株)フロム・ソフトウェアから発売されたプレイステーション用戦闘メカアクションゲーム。コンサートは、フロム・ソフトウェアのコンポーザーで編成されたミクスチャーロックバンド「FreQuency(フリーケンシー)」と大阪音楽大学スペシャルユニット、大阪電気通信大学DJ&VJユニットによるアーマード・コア

シリーズのライブとして実現しました。FreQuencyは、アーマード・コアシリーズの楽曲を手がける星野康太・齋藤司ら5人によるミクスチャーロックバンド。2011年11月に、ファーストアルバム「ARMORED CORE REPRISES」をリリース。セカンドアルバム「SUNRISE」が今年1月にCDで発売されています。

大阪音楽大学スペシャルユニットは、今回のコンサートのために、同大学の学生で結成されたユニット。大阪電気通信大学DJ&VJユニットは、DJぶっちょサイト(齋藤周弥さん=総合情報学部デジタルアート・アニメーション学科)とVJ 舩田龍也さん(先端マルチメディア合同研究所JIAMS)のコンビ。



メダルを手に語る三宅選手

「しがみ取る」目標に ロンドンオリンピック銀メダリスト 三宅諒選手 特別講演会

【講演の要旨】
 ロンドンオリンピック男子フェンシングフルレール団体銀メダリスト・三宅諒選手の特
 別講演会(医療福祉工学部健康スポーツ科学科主催)が2月2日、駅前キャンパスで開催されました。テーマは「フェンシングの魅力・ロンドンオリンピックを振り返って」。

近年開催されるオリンピックでは分りにくい競技はな
 くなりつつあり、小規模になり、駅前キャンパスで開催されてきました。フェンシングもエンターテインメント的なものになりつつあり、結果を出さないといけない仕事であると思っています。応援し

「何がなんでも」という気持ちで練習するのには難しかったが、これからはフェンシングを職業として活躍していきたい。今回メダルを取れたことが全てでなく、これからも維持していくことが大切だと考えています。なんとでも「しがみ取る」を目標として進んでいきたいと思っています。

有りたい。オリンピックのプレッシャーと元気が湧いてき、注目されていると思うと、すごいことをしているという達成感が湧いてきます。対戦には「腹をくく」という言葉とおり目標を決めて決断することが大切です。メダルを「しがみ取る」という

金山真悟さん 公害防止管理者試験 全科目合格

昨年10月に実施された公害防止管理者試験を受験した工学部応用化学科の金山真悟さん(写真)が、水質関係の中で最も難易度の高い「水質関係第1種公害防止管理者試験」に全科目合格し、資格を得ました。

水質1種は公害総論、水質概論、汚水処理特論、水質有害物質特論、大規模水質特論の5科目に合格する必要があります。

1月16日、福田國福理事長(橋邦英学長に合格の報告を行った金山さん)は「せっかくなので、これを生かせる仕事したい」と抱負を話し、資格取得を目指して



金山真悟さん

オランダ・ユトレヒト芸術大学 研究滞在レポート

2012年の4月1日から1年間、私はオランダのユトレヒト芸術大学に在在研究員として滞在した。在籍したのは、学内外との連携による各種プロジェクトワークやリサーチを企画運営する部署で、日本で言うところの産学官連携によるプロジェクトを取り仕切る実務部隊だ。

構成メンバーは7人ほどの学内コアメンバーを中心に学外からの研究員10人強を加えた20人弱といった所帯で、大小合わせ常に10~20程度のプロジェクト案件を抱えている。内容的には学外クライアントとの共同研究プロジェクトや、学内正課授業としての産学連携プロジェクト運営などで、対象分野はいわゆるゲーミフィケーションを中心とした幅広いコミュニケーションツールやシリアスゲームの企画・開発である。

そうした環境下、私は正課である学生のプロジェクト型授業を中心に担当させてもらい、多くの発見や学びがあった。特に社会性を伴ったプロジェクト内容や学内外と連携した実施体制には感心した。

各プロジェクトの企画はコアメンバーを中心に各自が練り上げるのだが、興味深いのは社会性豊かなテーマを設定し、実際に学外クライアントを巻き込みながら立案を進めることだ。プロジェクト型授業の長所は「同じ釜の飯」を経験した仲間同士の連帯感と相互扶助を通じた成長と言えるだろうが、学生た

デジタルアート・アニメーション学科教授 寺山直哉

ちが学外クライアントと対峙しながらさまざまな問題を解決していく中で、互いに影響され学び合う姿は印象的だった。そこには、教室=オフィス、学生=社員と化した学内プロダクションのような光景があった。さらに社会性を有したテーマ設定とも相まって、高等教育機関における実学的教育効果が非常に高いと感じたとともに、クライアントとなる学外組織や企業との密接なやり取りをはじめ、頻りに小回りの効く対応が重要となるプロジェクト型教育は、機動力を発揮し易いという点からも、実学教育志向の中規模大学にとって非常に大きな収穫に繋がるのではないかと実感した。



プロジェクト授業のコア運営メンバーによる企画ミーティング風景(一番奥が寺山教授)

昨年9月のカナダ・シエリダンのカレッジ短期学生交換プログラムが2月12日、四條畷キャンパスで行われ、参加に向けての目標と達成状況、プログラム全体を通しての感想、シエリダンカレッジでの授業や施設見学、ホームステイの感想などが発表されました。

この交換プログラムにより学生からは「本場での英語の学習により英語でのコミュニケーションの上達、文化の違いの認識をはじめ、海外の大学や職場環境を視察することで視野が大きく広がった」と



帰国報告会の様子

学生らの感想続々

シエリダンカレッジ帰国報告会

の感想が聞かれました。また、「日本とカナダの文化や常

識の違いを知ることができた」「英語を使う上で多くの失敗や刺激を受けることがあった」「コミュニケーション能力が高くなった」「自分に自信がついた」といった声がありました。

授業や施設については「映像やサウンドスタジオの質や規模に圧倒された」「授業がディスカッション形式で活発な議論が展開されていた」「ホームステイについては「地下室を持つような大きな家に驚いた」「英語でのコミュニケーションに苦労したが温かく受け入れられた」「食事の好き嫌いについて、ホストファミリーに伝えきれなかった」などの意見が出ていました。

2012年度寝屋川市立中央小学校 チャレンジクラブに協力

2月12、14、19、21日の4日間、寝屋川市立中央小学校の「チャレンジクラブ」が開催され、133人の児童が参加しました。

実施した場所は寝屋川キャンパスと中央小学校で、講座内容は、ソフトボール、タッチフットボール、電子おもちゃ、弦楽器演奏、卓球、映画研究、ハンドボール、アルティメット、バトミントン。講師はクラブなどに所属する学生が担当しました。

チャレンジクラブは中央小学校の主催で、小学4~6年生が対象。学習意欲の向上や技術の習得を目標に、スポーツや工作を体験するイベントで、今年で10回目を迎えます。

【担当したクラブ】

卓球部、硬式野球部、アメリカンフットボール部、電子技術研究部、管弦楽団、映画研究会、ハンドボール部、アルティメット部、バトミントン部



管弦楽団の学生と弦楽器を演奏

春のオープンキャンパス

総合情報学部3学科合同の「春のオープンキャンパス」が4月28日、京阪寝屋川市駅前の駅前キャンパスで催され、デジタルコンテンツやメディア・アート、ゲームデザイン、コンピュータサイエンスに関心のある高校生が多数訪れました。

★プログラム★

- ・学科紹介とキャンパスライフ(パネルトーク)
- ・ロボットサッカーRoboCup戦いの軌跡
- ・Kinect,Wii Fitでロボット操縦体験
- ・アイデア勝負! 10秒アニメーション制作
- ・クリエイターになろう!
- 中高校生のためのボーカロイド&アニメ塾
- ・実践解説スマホゲームはこうしてつくる!
- ・ゲームキャラの缶バッジをつくろう
- ・東京ゲームショウ出展の学生作品で遊ぼう
- ・4年間の集大成一卒業制作の展示・上映
- ・USTREAMで体験! テレビ番組づくり
- ・人とつながり、学びひろがる国際交流
- ・入試から就職まで 何でもQ&Aコーナー
- ・学生でもここまで作れる! 映画「スウィート・リベンジ」の舞台裏(ゲスト:主演 楠本美紗)



友電会主催

「第33次海外教育研修団」UBC随記

情報通信工学部通信工学科准教授 何一偉

3月31日、4週間の語学研修を終え、16人の学生を引率して帰りの途に就きました。バンクーバーから成田へ向かう日本航空311便が離陸して、シートベルト着用のサインが消えて間もなく、後ろから「Welcome,上の棚から荷物を出してもいいですか」との声が聞こえてきました。日本航空の乗務員はほとんど日本

人です。一足早く日本に戻った感覚がしました。しかし、この英語と日本語のコンヒネーションに違和感を覚え、振り返ると、語学研修に連れてきた学生が乗務員に話しかけています。4週間もバンクーバーにいれば、英語がこのように体に染み込んでくるんですね。

研修は例年どおり、カナダのブリティッシュ・コロンビア大学(UBC: The University of British Columbia)にある、イングリッシュ・ランゲージ・インスティテュート(Bilingual Language Institute)へ行きました。コースはグローバル英語(Global English for the Global Citizen)で、このコースは市民社会、国際性、持続可能性に関する問題について学びながらスピーキング力と流暢さを向上させるためのクラス設定としています。3~4週間の短期のプログラムで週授業時間がフルタイムの27時間とパートタイムの18時間(週)へ、授業はプレゼンテーションやプロジェクトが中心。本学の学生は3月4日から29日までの4週間のフルタイムのコースを受けました。



到着当日、スタンレー・パークのトーテムポール前で

研修はおおむね順調で、学生はほとんど休まず学校に通いました。ホストファミリーとの関係についても特に問題があるような相談はありませんでした。料理がおいしいという学生もいれば、ホストファミリーの子供と仲良く遊んでいるという学生もいます。親切なホストファミリーは休みの日に学生を連れて遊びにいくこともありました。

今回の学生は全体的に見ると、過去にないほど活発な印象がありました。スケートボードを持つ学生は初めてだし、2,3回もウィスラーに行ってスキーをし、スキーが数人います。個性豊かな学生も多かったです。これはこれらの傾向が多少ありません。トラアルも多少ありました。TOEFLテストで820点を取り、また、この点数以上に英語によるコミュニケーションに自信を持っています。専門知識と語学能力を武器に就活を始めようとしています。今回の語学研修もきっと16人の参加者の人生に何らかの形で影響を与えていくでしょう。

時期的には日本の大学生が春休みに当たり、日本人が参加しやすいような日程設定となっています。本学の学生と同じコースに参加した約100人はほとんど日本人で、早稲田大学、東京工業大学、神奈川大学、東海大学などの学生もいました。

授業は月曜から金曜の間の午前9時から午後3時45分まで行われ、学生が自ら英語による発言を促すため、さまざまな工夫が授業になされました。エコ社会や、移民、国際援助などさまざまな社会問題や国際問題について、場合によっては公園やスターバックスに

しがちの学生も毎日のように授業や、イベントに熱心に出席していました。私が滞在したのはStuart Hallという、ダウンタウンの住宅街にある小さいホテルでした。バス一本約30分、UBCに行けます。UBCに到着後、学生が授業終了後の帰り道に寄る学生会館(Student Union Building)で面会し、状況把握などに努めています。それ以外の時間はほぼ、ホテルに滞在しています。携帯電話一台を借りて、学生の不測の事態の際の連絡手段として用意、私と学生はiCloudメールや個人メールアドレスを通じて連絡を取り合い、指示などをしていました。



研修最終日のボスター発表会のカリキュラムを終え、ピクトリア観光に行くフェリーの乗客が私に「O君に奇跡がおきました」と報告してきました。どういふことかと聞くと、船内で自らすすんで英語でコミュニケーションを取っていた。話を聞いたO君は「僕の英語を何だと思っていましたか」と自信満々で答えていました。実はこのO君は研修の2日目に「自分がこのように英語はかりの場所に来るべきじゃない」と後悔して私に相談して来た学生でした。

学校法人役員

▽理事 松村雅史(医療福祉工学部長▽理事 辻谷将明(情報通信工学部長)

新任教職員

工学専攻博士前期課程、94年電気工学第二専攻博士後期課程修了、同工学部通信工学科助手。2007年同大学院工学研究科電気電子情報工学専攻助教。博士工学。45歳。

井口 学(いぐち まなぶ) 機械工学科教授



1971年徳島大学工学部機械工学科卒。73年大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了、国立阿南工業高等専門学校機械工学科助手。大阪大学工学部助手、学内講師を経て91年助教。96年北海道大学大学院工学研究科物質工学専攻教授。2011年北海道大学名誉教授。工学博士。65歳。

伊藤 義道(いとう よしみ) 電気工学専攻准教授



1990年京都大学工学部電気工学第二学科卒。92年同大学院工学研究科電気



徳島名誉教授(右)と福田理事長

徳島先生に 名誉教授の称号記授与

2010年3月に退職した徳島耕次先生に、2月5日、名誉教授称号記が授与されました。

徳島耕次(かむし まこと)

1976年工学部精密工学科助教。98年工学部第一知能機械工学科教授、第二知能機械工学科教授。06年工学部第一環境技術学科教授・副主任、07年工学部環境技術学科教授・主任。10年退職。

総合情報学部

メディアコンピュータシステム学科 情報学科に改称

総合情報学部のメディアコンピュータシステム学科は4月1日から情報学科に改称されました。情報学科は、四條畷キャンパスで、情報システムや情報ネットワークを扱う情報処理のスペシャリスト、コンピュータグラフィックスやウェブデザインなどのデジタルコンテンツのデザインやマネジメントを行う人材を育成するための教育を、基礎から応用まで実践的に行っています。

イタリア・ミラノ大学より 春の便り

イタリア・ミラノ大学大学院博士課程に在学中のLuca Manzoniさんは日本学術振興会(JSPS)の招きで来日し、昨年10月から2カ月間、情報通信工学部情報工学科の梅尾研究室で、「非同期セルオートマトンの構築と分子計算への応用」に関する研究指導を受けてきました。



写真はミラノ大学の同僚たちと楽しいひと時を過ごしているManzoniさんと、彼からの手紙には、本当に楽しかった寝屋川での研究生活がつつづいています。昨年8月、同大学の計算機学部のトップ

で、二十数年来の知人であるGiancarlo Mauri教授が台湾での国際会議の後、大阪まで足を運び、「彼はよくできる学生で、よろしく指導してほしい」と一言伝えるために本学を訪問しました。人間関係を重視するイタリア人気質を見る思いでありました。

実際、彼はなかなか良くできる学生で、週に1、2度ディスカッションをしたのち、3、4日後には英語でレポートをまとめてくるという学生でした。最初は遠くから眺めていた本学の学生諸君も、彼がアニメ好きだとわかると、連日彼の部屋を訪れ、昼食に誘うなど国際交流を深めていました。

彼は2011年4月に本学に設立された情報学研究施設の外国人共同研究者の第1号でした。同君の本学での滞在に当たり、さまざまご援助をいただいた福田國彌理事長、国際交流委員会委員長・石井徳章教授、研究支援室、大学庶務課、並びに法人施設課の関係各位にお礼申し上げます。

(情報工学科教授・梅尾博司)

JSPS特別研究員Manzoniさんからの'Milano Report'

I want to tell about the time that I have spent in Neyagawa between the middle of October and the middle of December. When I first arrived I was quite worried since it was my first time in Japan. Now, after having returned to Italy, I can assert that the time that I spent near Osaka was one of the finest that I have experienced during my academic life. I want to tell about some aspects of my daily life but, before doing this, I need to thank many people that I had the opportunity to meet during my stay. From Professor Umeo, which was an essential guide in my research activity, to the students and researcher that I met and to the people from the University's administration that helped me in the preparation of the application, that provided me an accommodation, and that helped me in settling down once arrived. As an Italian arriving in Japan I found many little things in daily life that were different from Italy. Some of them pretty obvious, like the initial difficulty in finding the ingredients for the Italian recipes that I know. Luckily I found the Japanese cuisine really delightful, and now that I have returned to Italy I miss it a lot. I have also found that the university life in 大阪電気通信大学 looks different from the one in Milano-Bicocca. In Milan undergraduate students either go to the university only to follow lessons or, if they stay in the university buildings, they usually remain to study alone or in little groups and do not engage in social activities. While I was in Japan when returning home in the evening I always had the opportunity to see people practicing sports and, in general, I felt that there is a greater sense of community than in Italy. This was also confirmed by the University festival at the beginning of November. It was a beautiful event that I am pretty sure that is not existent in Italy. I want to say that this "sense of community" is something that feels stronger in Japan than in Italy (or in any other European country that I visited). To conclude, thank again to all the people that I met during my stay, I hope to see you all again in the future. Luca Manzoni

講演・発表・出展

東日本大震災復興支援「つくる ことが生きること」神戸展

1月17~27日、わわプロジェクト主催。デジタルアート・アニメーション学科・原久子教授、展示ディレクション「阪神・淡路大震災+クリエイティブ タイムライン マッピング プロジェクト」。

イノベーション・エキステンジ

2月7日、大阪市。メディアコンピュータシステム学科・久松潤之准教授、ポスター発表「ネットワーク負荷を考慮した動画像ストリーミング」。2月28日、大阪産業創造館。メディアコンピュータシステム学科・大西克彦准教授、ポスター発表「スマートフォンにおける表示領域を考慮した文字入力手法」。

第2回ホームヘルスケア機器開発フォーラム

2月15日、大阪市都市型産業振興センター。医療福祉工学科・千原宏教授、講演「ヘルスケア機器産業における科学的根拠の役割」。理学療法学科・吉田正樹教授、講演「大学にお

けるヘルスケア機器開発研究の取り組みと先進技術」。

ヘルスケアビジネスフェア2013 シーズ発表会

2月26日、大阪市都市型産業振興センター。健康スポーツ科学科・武田ひとみ教授、発表「アロマセラピーの生理的・心理的効果を利用したストレス性疾患予防対策」。

文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム研究成果報告会

1月29日、けいはんなプラザ、関西文化学術研究都市推進機構主催。田村俊世特命教授、研究報告「無意識生体計測&検査による健康支援システム」。

第3回「予防医療・介護・リハビリテーションに関わる科学技術の高度事業化」発表交流会

2月8日、京都リサーチパーク、京都大学など主催。関根正樹特命准教授、出展「緑色LEDを用いたウェアラブル脈拍計~効果的な運動の支援を目指して~」「ウェアラブルモーションセンサーリハビリテーションへの応用」。

異動

- 高等学校常勤講師。40歳。 溝田 淳(しづた じゅん) 2009年立命館大学経済学部卒、立命館守山中学・高等学校常勤講師。12年京都市立銅駝美術芸術高等学校常勤講師。26歳。 角桶 大地(あづみ だいち) 2013年大阪電気通信工学部電気電子工学科卒。22歳。 松本 光晴(みつもと ひろはる) 2012年天理大学体育学部体育学科卒、大阪電気通信大学高等学校非常勤講師。23歳。 【教員昇任】 教授 柏原郁子、海老原聡、山原英男、松尾邦子▽准教授 上嶋章宏 【教員移籍】 △工学部英語教育センター 上垣公明▽工学部基礎理工学部 浅倉史典▽総合情報学部情報学科 兼宗進 雄 【法人事務局】 △広報部長兼務 田中孝憲 △広報部広報課長事務取扱(課長補佐待遇) 藤原大資 △広報部広報課係長 米田祥馬 △広報部広報課 山崎裕加 △財務部施設課長 今井久雄 △財務部経理課 植田 正 野正彦▽就職部長 小笹 俊博▽入試部長 榎本博行 △図書部長 石井徳章▽教育開発推進センター長 川口雅之▽メディアコミュニケーションセンター副センター長 兼宗進 【大学】 △四條畷事務部庶務会計課長事務取扱(課長補佐待遇) 長谷川靖倫▽四條畷事務部四條畷学務課長事務取扱(課長補佐待遇) 島袋桂▽大学事務局庶務課係長 池田裕喜▽大学事務局参事 松嶋和幸▽大学事務局研究支援室長(課長待遇) 四元博文▽教育開発推進センター事務室長(課長待遇) 溝口文字▽大学事務局庶務課 徳永佑樹▽四條畷事務部庶務会計課 北野智世▽図書館事務室長兼務 池宮達雄

出版情報



中野由章特任講師 「キーワードで学ぶ 最新情報トピックス2013」

メディアコミュニケーションセンターの中野由章情報教育特任講師をはじめ4人が監修した書籍「キーワードで学ぶ最新情報トピックス2013」がインターネットと情報機器を上手に利用するために「P社」より刊行されました。インターネットを利用した多彩なサービス、それを実現するコンピュータやインター